腹腔鏡下手術における臨床工学技士によるスコープオペレータ業務の有用性に関する分析

研究機関　KKR 東海病院 臨床工学科
研究責任者　技師長　渡邊 雅俊

KKR 東海病院（以下、当院）臨床工学科では、腹腔鏡下手術の診療で得られた情報を用いた下記の研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの情報について、本研究への利用を望まれない場合には、下記の問い合わせ・連絡先までご連絡ください。

１．研究の概要

当院では、2024 年 10 月より臨床工学技士（CE）が腹腔鏡下手術のスコープオペレータ業務に参画しています。本研究では、CE による同業務の導入前後および医師対応症例と CE 対応症例を比較し、手術関連指標、診療運用、医師の労働効率性に関する指標および安全性の観点から、同業務の有用性を検討します。

２．研究の方法

１）研究対象者

2022 年 10 月から 2026 年 9 月までに当院で腹腔鏡下手術を受けられた患者さんを対象とし、診療記録等を用いて後ろ向きに調査します（875 症例）。

２）研究実施期間

本研究の実施許可日 ～ 研究終了まで

３）利用する診療情報

術式、スコープオペレータ担当者（医師または CE）、手術時間、麻酔時間、出血量、術後在院日数、手術・麻酔の開始・終了時刻等の手術関連情報を利用します。また、手術件数等の診療運用に関する情報および同業務に関連する院内インシデント情報を利用します。研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

４）個人情報の取扱い

患者さん個人が特定されないようにした上で解析を行い、調査により得られたデータの取扱いには十分配慮します。研究成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人を特定できる情報は公表しません。また、研究対象者を特定できる診療情報を院外へ提供することはありません。

５）問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

KKR 東海病院 臨床工学科
研究責任者　技師長　渡邊 雅俊
〒464-8512　愛知県名古屋市千種区千代田橋一丁目 1 番 1 号
連絡先（電話番号）052-711-6131（代表）